

報道関係各位

2025年4月2日

タワークレーン基礎工事不要、サイト面積を減少、サイト間移動の効率化 風車建設用タワークレーン「JCW1250」レンタル開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、東光電気工事株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山本隆洋)、株式会社 TA リフト(本社:東京都千代田区、取締役社長:岡野雅史)、株式会社北川鉄工所(本社:広島県府中市、代表取締役社長:岡野帝男)の4社で風車建設用タワークレーン「JCW1250」を開発し、2025年4月2日(水)よりレンタルを開始いたします。



風車建設用タワークレーン「JCW1250」全景

■風車建設用タワークレーン「JCW1250」とは

従来のオールテレーンクレーン※1の最小作業半径は約22m程度ですが、風車建設用タワークレーン「JCW1250」は、12.5mでの作業半径が標準となるため、サイト面積※2を削減することができます。また、折り畳み式クロススペース※3を採用し、基礎工事が不要となることに加え、風車間移動の際にはクロススペースを分解せずに輸送できる構造となっております。最大吊能力は95トン、最大作業高さは130mとなり、これまでの国内最高風車よりも高く吊り上げが可能となります。

※1 オールテレーンクレーンは移動式クレーンの一種。移動式クレーンは原動機を内蔵し、不特定の場所に移動可能。

※2 サイト面積とは風車の建設に必要な工事面積のこと。

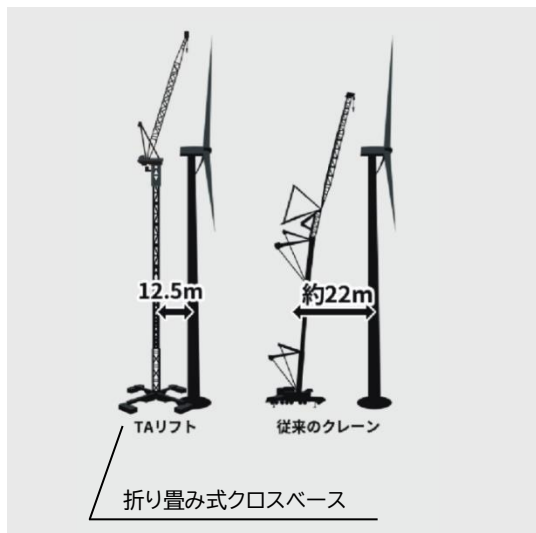
※3 クロススペースとはクレーンのベース架台の名称。



■風車建設用タワークレーン「JCW1250」特長

- ・12.5mと作業半径が小さいため、サイト面積を削減することが可能
- ・置くだけの構造のため、クレーンの基礎工事が不要
- ・折り畳み式クロスベースを採用していることで、分解せずに輸送ができ、輸送車両の削減が可能
- ・最大作業高は130m

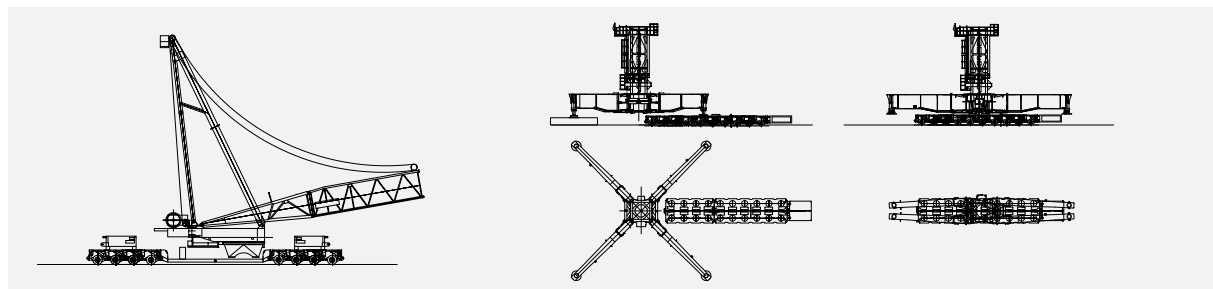
■従来クレーンとの比較図



■クロスベース



■輸送事例



■スペック

型式	JCW1250	
ブーム長 (m)		42.51
最小作業半径 (m)		12.5
最大作業高さ (m)		130
定格荷重 (t)		95
電源(50/60Hz) (V)		400/440
電源容量 (kVA)		554/610
最大分割質量 (t)		22

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械

を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ クレーン事業部

TEL:03-6854-1423